

第6回 自分が変えるプロジェクト☆させば自変

させば自変 最優秀賞 *市長賞* 【健康づくり課・感染症対策課】

佐世保市LINEの予約機能の活用（歯周病健診・歯科相談、HIV・性感染症検査 など）

業務改善部門 優秀改善賞 *副市長賞*

【政策経営課】カーシェアの導入

提案部門 優秀提案賞 *副市長賞*

【中原健仁】窓口開庁時間の短縮

特別賞 【基地政策局】

終業時間になったら消灯しましょう

特別賞 【松下幸一】

週4日/4.5日勤務制導入(選択的)による
ワークライフバランス向上と業務効率化

ワークライフバランス賞 【図書館】

不当要求者（カスタマーハラスメント）に対する
窓口対応訓練等の実施

行財政改革推進会議会長 特別賞

【健康づくり課・感染症対策課】

佐世保市LINEの予約機能の活用

最多改善賞 【環境政策課】

改善事例 2 3 件

S-1グランプリ☆MORE!



第6回 業務改善運動（させば自変）受賞者



表彰区分	改善内容・提案内容	受賞者
させば自変最優秀賞 〈市長選定〉	佐世保市LINEの予約機能の活用（歯周病健診・歯科相談、HIV・性感染症検査 など） がん検診・性感染症検査は電話のみで予約を受付ていたが、佐世保市LINEアカウント上に予約フォームを作成することで、予約者が空き状況を確認しながら、24時間予約できるようになった（※がん検診は一部を試行段階）。また、職員の電話対応時間も削減された。さらに、性感染症検査では匿名のままで予約者へ個別にLINEメッセージを送ることが可能になり、LINEで結果等をお知らせできるようになった。	保健福祉部 健康づくり課・感染症対策課
優秀改善賞 〈副市長選定〉	【業務改善部門】 カーシェアの導入 遠い場所への外勤などでタクシー代が高くなるときや、様々な場所に回る必要があるときなどにカーシェアを使用した。カーシェアを使用することで、公用車が取れないときや急な外勤にも対応できるようになった。	企画部 政策経営課
優秀提案賞 〈副市長選定〉	【提案部門】 窓口開庁時間の短縮（銀行が15時に閉店する理由） 窓口開庁時間を短縮することで、職員の内部業務に充てる時間の確保を行う。 確保した時間を使って、業務改善、政策立案、課内会議、掲示板の確認及び情報収集、業務開始準備作業、片付け作業など、部署によって業務時間中に行うことが難しい内部業務を計画的に実施することが可能となる。	中原健仁 氏 （水道局経営管理部営業課）
特別賞	終業時間になったら消灯しましょう【業務改善部門】 終業時間になったら（5時20分までに）消灯する。時間外命令を受けていない人はさっさと帰る。 何とか時間内で業務を終わらせようと頑張る。業務の効率化、工夫をするようになった。	基地政策局
特別賞	週4日/4.5日勤務制導入(選択的)によるワークライフバランス向上と業務効率化【提案部門】 1日の勤務時間を調整することで、週の総労働時間は5日勤務制とほぼ同等、給与も変更なし。希望者は、1日の勤務時間を増やすことで、週4日または週4.5日勤務を実現し、休日を増やすことができます。週4日勤務が難しい場合でも、週4.5日勤務を選択肢として設けることで、より柔軟な働き方が可能になる。	松下幸一 氏 （環境部ゼロカーボンシティ推進室）
ワークライフバランス賞 〈職員投票上位〉	【業務改善部門】 不当要求者（カスタマーハラスメント）に対する窓口対応訓練等の実施 実際の窓口に沿った「不当要求対応フロー」を作成し対応体制を整え、録画機、録音機等の必要な備品を整備。利用者の目につくように、厚生労働省等のカスタマーハラスメント対策ポスターを窓口等へ掲示した。 組織で適切に対応できるように、実際の場面を想定し、受け付けた職員及びそれ以外の職員の動き方について定期的な訓練の実施。	文化スポーツ部 図書館
行財政改革推進会議会長特別賞 〈市附属機関選定〉	【業務改善部門】 佐世保市LINEの予約機能の活用（歯周病健診・歯科相談、HIV・性感染症検査 など） 【最優秀賞と同じ】	保健福祉部 健康づくり課・感染症対策課
最多改善賞	【業務改善部門】 最も多くの改善を実施した課を選定 改善件数 23件	環境部 環境政策課

第6回 業務改善運動（させば自変）について【表彰までの流れ】

■「させば自変」とは

市民サービスの向上や行政運営の効率化等の視点から、職員一人ひとりが、自発的に日頃の業務のやり方を見直し、組織全体で改善に取り組む風土を浸透させるため、令和元年度から全庁で「業務改善運動（させば自変）」に取り組んでいます。

